

制服選択システムの構築を支える環境に関する研究

社会福祉学科 臨床福祉系 T.Y

本研究は、制服選択が可能な学校の特徴や傾向、取り組みを明らかにし、制服選択システムの構築を支える環境について検証した。事例研究法を用い、16 事例を分析した結果、制服選択システム導入までの過程において何らかの形で生徒が関わっていた点、性差が見えにくいブレザー等が採用される事例が多い点が見いだされた。その中でも特に生徒が制服選択システムを使用しやすい環境が存在していると考えられた 1 事例をさらに分析したところ、人権学習の取り組みを通して「性的マイノリティについての知識、価値」、「自己肯定感」に加え、「他者を尊重する視点」が獲得され、性的マイノリティを媒介として自身と他者を互いに尊重し合う「多様性を尊重する環境」が整備されたと考えられた。この環境が存在することで生徒は不安なく制服を選択でき、制服選択システムは機能すると考えられた。制服選択システムの意義は、生徒の自己決定を尊重し、生徒の人権を守る点にあるといえる。